木谷自治協議会広報紙

第　69号　（隔月発行）
令和６年(2024)　６月１日
編集：木谷自治協議会事務局

豊潤の里だより

ストップ処分場に向けた学習会開催

～ 水こそ命 土こそ命 本郷処分場原告団から学ぶ ～

2月10日午後、暖房のない冷え切った木谷小学校体育館に、50名近い住民が集まりました。この日は、赤崎産業廃棄物最終処分場建設反対に向けての学習会を開催しました。講師は本郷処分場建設差し止め原告団代表の岡田和樹さんです。多くの貴重なお話を聞くことができました。

原告団は竹原・三原市民の8割以上の人の水源を守るため、広島県に対しても処分場建設許可取り消しを求める行政訴訟に取り組んでいます。昨年7月4日広島地裁は「水質など調査不足」とし、湯崎知事の出した処分場の設置許可を取り消す判決を言い渡しましたが、広島県は控訴し現在も厳しい裁判は続いています。この間、全国から廃棄物は入り続け、すでに50,000トン近くが埋め立てられています。処分場からは泡水も流れ続け、近くの農家の中には米の作付け準備を断念された方もいます。

広島県は全国で3番目に産廃処分場が多く存在しています。その理由が条例の有無にあったと岡田さんは**三重県津市の取組を紹介**されました。津市は「**水道水源保護条例**」を制定し処分場建設を阻止しました。その経緯を以下に記します。

1　民間業者による産業廃棄物埋め立て処分場の**建設計画が判明**
2　当時の津市議会・美里村議会が**建設反対を決議**
3　業者が建設計画（許可申請書）を三重県に提出したが行政指導中とし未受理
4　業者が**三重県を地方裁判所へ提訴**
5　建設許可申請書が県に提出され受理
6　津市長、久居市長、美里村長、香良洲町長による**断念請願書を業者へ提出**
7　**「水道水源保護条例」を久居市、美里村、香良洲町が制定**
8　美里村は同条例に基づき事前協議書を要請
9　津市が用地を買収することで業者との**和解成立**

竹原市大乗地区では、木谷と同じ管理型処分場建設計画がもちあがりましたが、**予定地中心部の地権者一人が一貫して反対し、その人を町内会など地元住民が全面的に支援することで、処分場建設を中止に追い込んだとの事例も紹介されました**。

この学習会で、一旦造られると問題が起きても止められない処分場の現実と、生活を守るための住民の思いの強さを学びました。

第１２回木谷自治協議会総会開

5月18日、令和6年度木谷自治協議会の総会が、木谷小学校体育館において開催されました。今年は役員を対象に開催され、30名の出席（他に委任状提出者19名）を得ました。

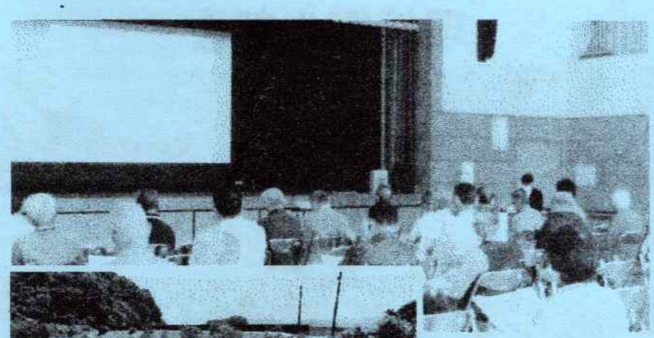
西岡達郎会長の挨拶の後、令和5年度の活動報告と会計報告、令和6年度の役員案や事業計画案と予算案が説明され、賛成多数で承認されました。総会資料は回覧されます。今年度も皆様のご協力を得ながら、木谷地域のために精力的に活動してまいります。

西岡会長の挨拶（要旨）

この頃一番気になるニュースは、高齢者が含まれている交通事故や火災のニュースです。ついこの前（14日）も徳島県で84歳の運転、もう1台は65歳の運転で、乗用車同士の正面衝突事故がありました。2人が亡くなられ、１名が意識不明の重体でした。原因は、どちらかの車が対向車線にはみ出したのではないかということのようです。交通事故も火災も防ぐことはできないのでしょうか。・・・まだまだ若い等の思い込みやついうっかりなど・・・日々の生活を常に振り返りながら過ごすことの大切さをかみしめています。火事については私は特に寝る前、家を留守にする時、しっかり火の元などの安全を確かめるようにしています。

高齢化がますます進む時代です。一人ひとりの自覚と地域での助け合いをさらに高めていきたいものです。

記念講演「二馬手の樋(ひ)の輪(わ)と塩づくりの歴



5月18日、木谷自治協議会総会に続き、二馬手塩田跡地の「樋の輪」が令和5年(2023)7月に市の史跡に指定されたことを記念する講演会が開かれました（講師：市教委文化財係主事・竹下紘平氏）。

二馬手塩田跡の「樋の輪」は、ほぼ昔の姿を留めており、文献史料も揃っていることが高く評価されています。会場では地域の歴史に関心のある人たちが説明に聞き入りました。（※「樋の輪」とは、海水を塩田に引き込む樋門を、風や波から守るために設けられた半円状の石堤のことです）

地域センター
主催講座

「毎日を楽しく迎えるセルフケ

木谷地域センターの主催講座として、昨年10月から今年3月まで5回シリーズで開催されました。講師は「安芸津町地域おこし協力隊」員でもある淺田真紀子さん。

自分でできる健康維持法を体得し、心身ともに健康な毎日を過ごすことを目標に毎回14名前後が受講しました。受講者からは「分かりやすい説明で初心者でも取り組みやすい」「毎日コツコツ実践できている」などの感想が聞かれました。令和6年度は4月から来年3月まで（5月と1月は除く）の第一水曜日開催で途中からの参加も可能です。

地域のつながり「郷地区大運動会」

4月28日、青少年育成郷地区会議が主催の「第45回郷地区大運動会」が、木谷小学校の体育館で開催され、子どもたちを中心に100名近くが参加しました。

誰もが気軽に参加できる種目が多く、子どもたちの歓声が響いていました。競技の終了後はお楽しみのクジ引きがあり、その後会場を移しての懇親会で親睦を図りました。

地域の伝統行事：5月3日は赤崎の三種神社、5月5日は郷の八坂神社で例祭が行われました。三種神社では神楽も奉納されました。

部会活動紹介

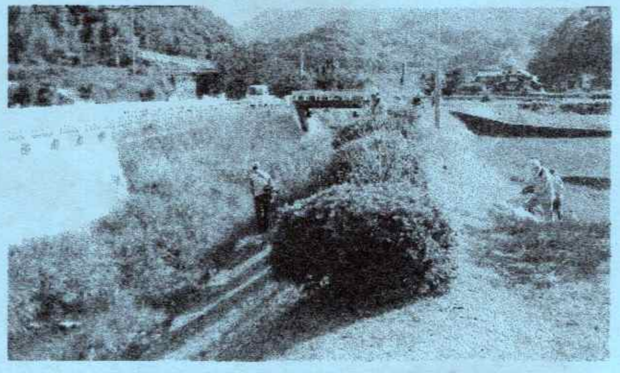
次世代部会

3/23 春を告げるシロウオの遡上(そじょう)を観察

春の風物詩シロウオの遡上が見られるこの時季、保護者を含め25名が参加して、観察会が行われました。あいにくの小雨模様でしたが、子どもたちは網やボウルでシロウオを捕り観察していました。

＜木谷はっけん野あそび会＞

環境衛生部会

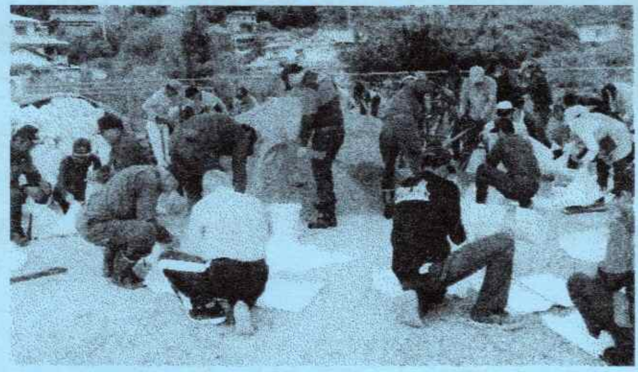


5/18 木谷郷川の堤防の草刈り美化活動

木谷郷川流域にコンクリート擁壁＋土手の堤防が1か所あります。そのため草が伸び放題になり美観を損ねがちです。今年度は3回の草刈り美化活動を計画。このたび9名が参加して1回目の活動を行いました。

＜木谷地区公衆衛生推進委員会＞

防災安全部会



5/19 大雨に備え、土のうを作り追加備蓄

区長を中心に地域から39名、消防団（安芸津方面隊木谷分団）から20名、消防署から3名が参加して土のうづくりが実施されました。昨年は豪雨災害がなく、使われなかった土のうがかなり残っていましたが、大雨に備え1,000袋近い土のうを追加備蓄しました。

木谷自治協議会にご寄付をいただきました

ご厚情ありがとうございました。

令和6年4月　田中 憲二郎　様（香典返し）

皆様からの温かいご寄付は、元気な木谷をつくるために活用させていただきます。

※ お問合わせは、木谷自治協議会事務局（木谷地域センター内）までお願いいたします。

木谷の人口（住民基本台帳）	世帯数	人口	男	女
令和６年(2024)４月末現在	677	1413	686	727
令和５年(2023)４月末との比較	−8	−28	−19	−9